

研究大学と自助・自立の精神 (アカデミック・アントレプレナーシップ)

中央教育審議会

2012.05.29

上智大学 上山隆大

日本のアカデミアはどうあるべきか？

- 研究大学への支援の拡大と抜本的再建の必要性
 - 「納税者の論理」に振り回され続ける大学改革
 - アカデミアの本質が溶解しつつある危機
 - 「リサーチ」へ財政的支援の全面的な拡大
- 大学人の社会や市場への意識改革
 - 予算の「配分」の論理に去勢された大学人
 - 大学人は「説得の言葉」を持っているか？
 - 「基礎研究」神話に縛られていないか？
- 日本の産学連携政策の問題
 - アメリカの歴史的・精神的背景の理解なし
 - 私的利益と公的役割のきちんとした議論のなさ
 - アカデミアの無理解と受け身の協力
- アカデミズム＝市場社会におけるパワーエリート
- アカデミック・アントレプレナーという視点
- ダイナミックな大学像を自ら生み出すとき

アカデミアにおけるアントレプレナーシップ

- 研究大学のグローバル競争
 - 爛熟期を迎えつつある大学というシステム
 - 人と物と組織そのものの移動
 - 高等教育を受けた人的資源への需要の世界的高まり
 - 世界的な競争の中で求められる新しい大学像の創出
 - 人類の文明史における大学像の変遷
 - 太平洋経済圏の東アジアの中での新しい大学像の可能性
 - 日本の「研究大学」はそれに答えているか？
- 80年代に始まる大学のグローバル化
 - 研究特許の進展とプロパテント政策
 - バイ・ドール法
 - 大学の市場化、商業化
 - 公的資金への依拠から大学自身の研究費創出へ
 - ベンチャーキャピタルとの関係の強化
 - アメリカモデルの世界的展開とその影響

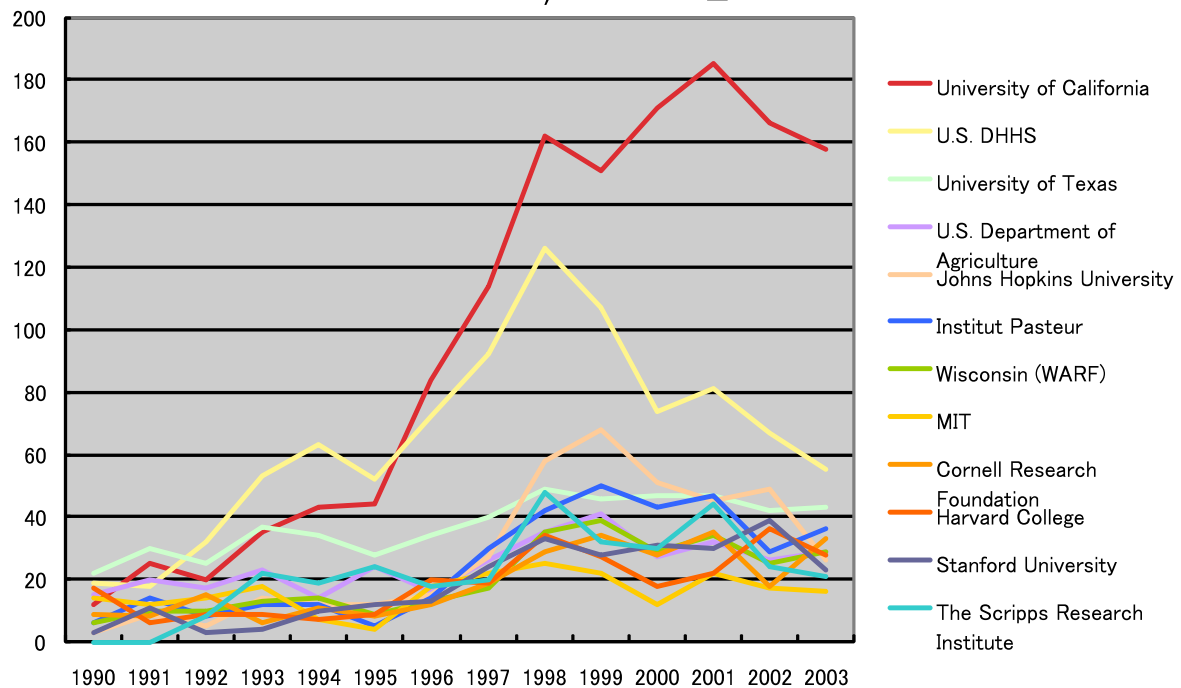
3

大学ガバナンスのグローバル化

- 大学経営における戦略性
 - Office of President 部局の重要性
 - Multi-purpose の大学経営の難しさ
 - 大学研究特許の意味→数字合わせの増加(日本)
 - 大学の公共性と大学の私的利害としての競争
 - 「知識の実験場」としての研究大学
 - 「知識のマネジメント」という戦略
 - 研究ポリシーの重要性: 利益相反、ガイドライン
- 大学財務の戦略的アントレプレナーシップ
 - 特許は財務的には大きな意味はない
 - 財務環境の多様性: 寄付、投資、民間財団
 - 大学基金とリスクマネー
 - ベンチャーキャピタルと大学発ベンチャー

4

Biotechnology Patents Granted top 12 academics, 1990-2003



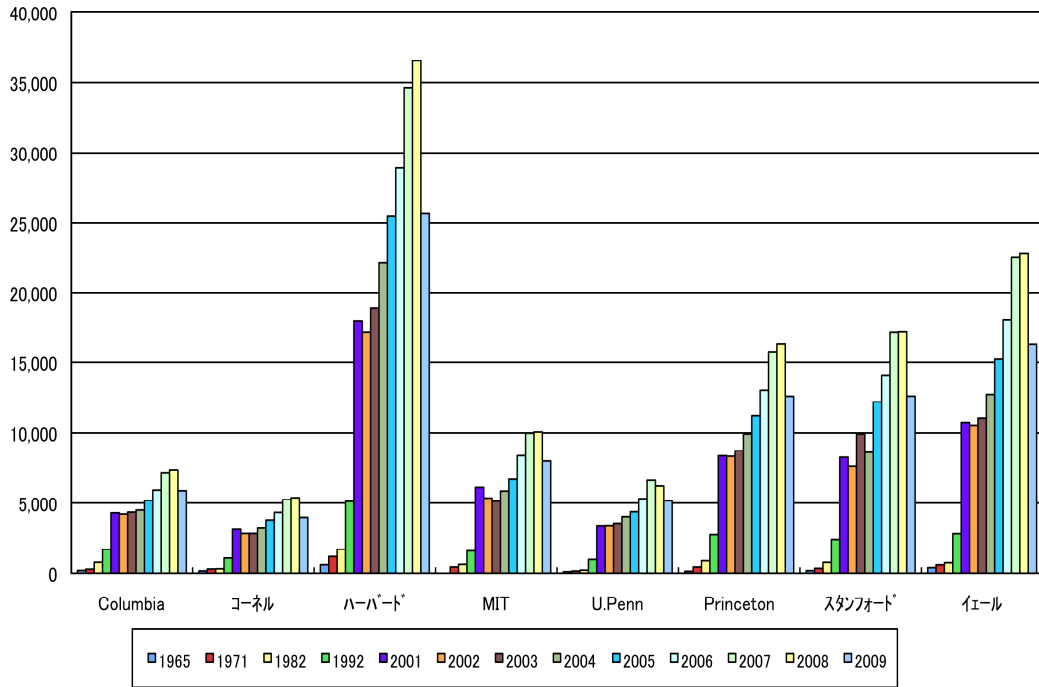
大学研究の特許化の目的は？ それはアカデミアを衰退させたか？

- アメリカの研究大学の特許収入
 - 多いところで40-50億円
 - Stanford のリサーチ資金の10%以下
 - バイ・ドール法: 研究大学の政府へのロビー活動の結果

- 何のために特許を取るのか？
 - 州立大学と私立研究大学の違い
 - 学内に埋もれがちな新しい知識の発見
 - 社会との双方向のフィードバック
 - 日本版バイドール法、技術移転法の問題
 - アメリカにおける歴史的な精神の理解の必要性

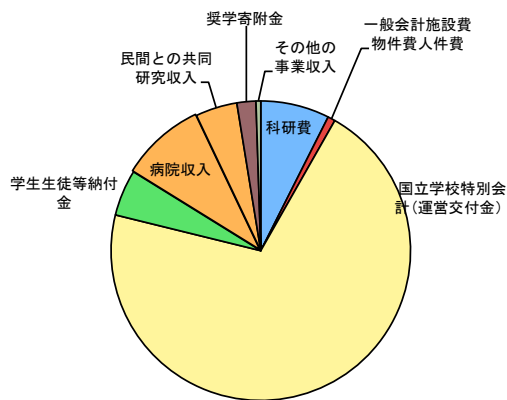
主要大学の大学基金 (ENDOWMENT) の変遷

Total Endowment Value(in \$1,000's)



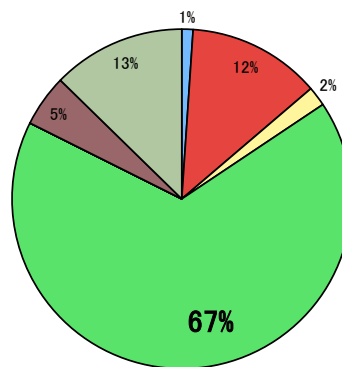
東京大学と早稲田大学 (2002)

東京大学



- 科研費
- 一般会計施設費物件費人件費
- 国立学校特別会計(運営交付金)
- 学生生徒等納付金
- 病院収入
- 民間との共同研究収入
- 奨学寄附金
- その他の事業収入

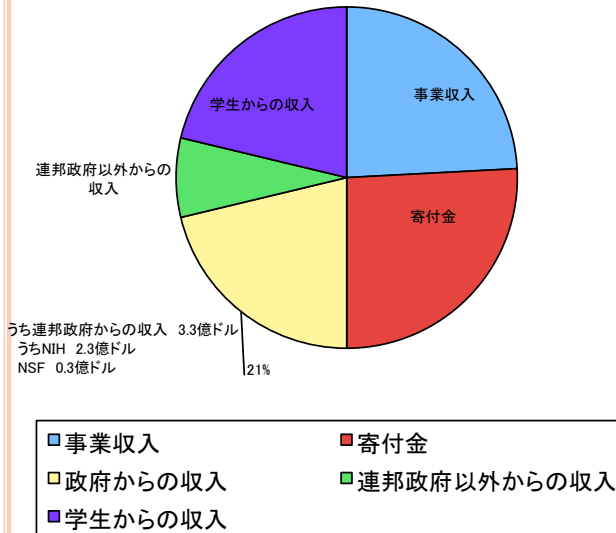
早稲田大学



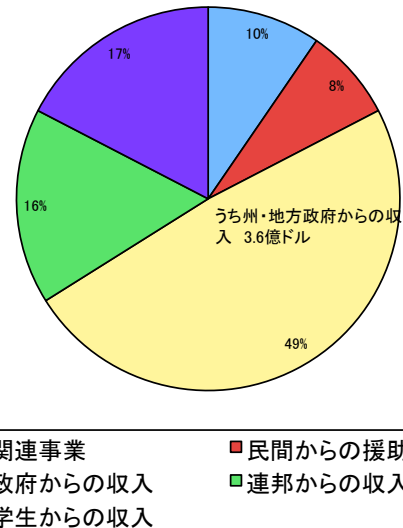
- 科研費
- 補助金
- 資産運用収入
- 学生生徒等納付金
- 病院収入
- 民間との共同研究収入
- 寄付金
- 事業収入他

ハーバード大学とUC バークレー (2002)

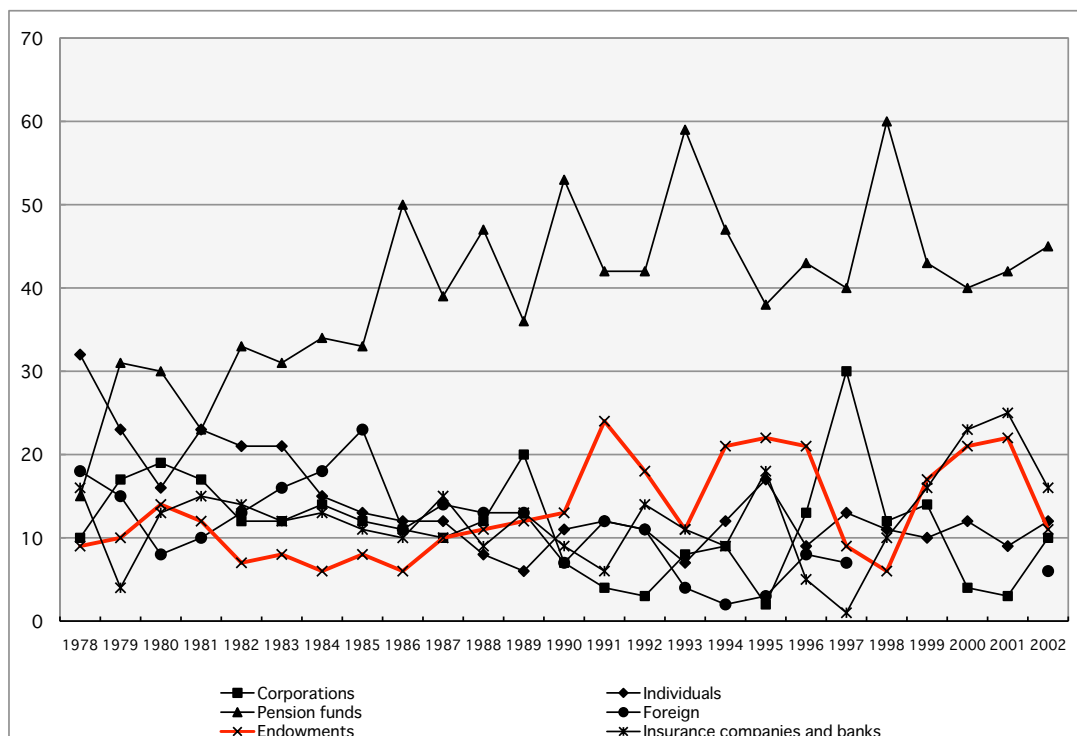
ハーバード大学



UC バークレー校

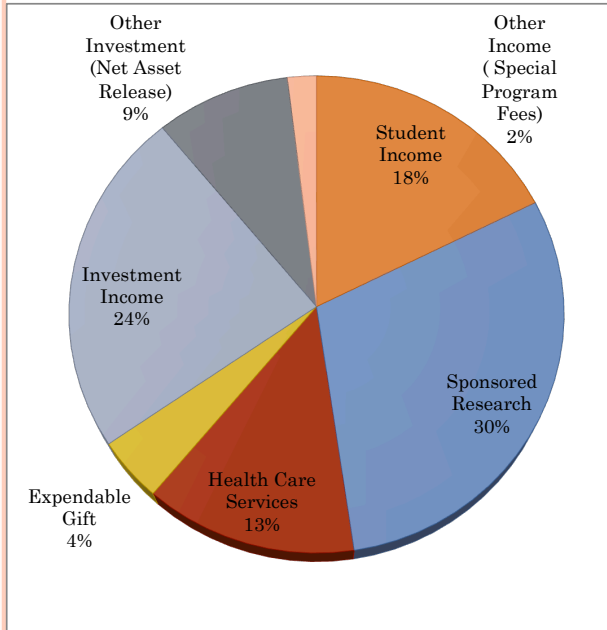


ベンチャーファンド出資者の変遷

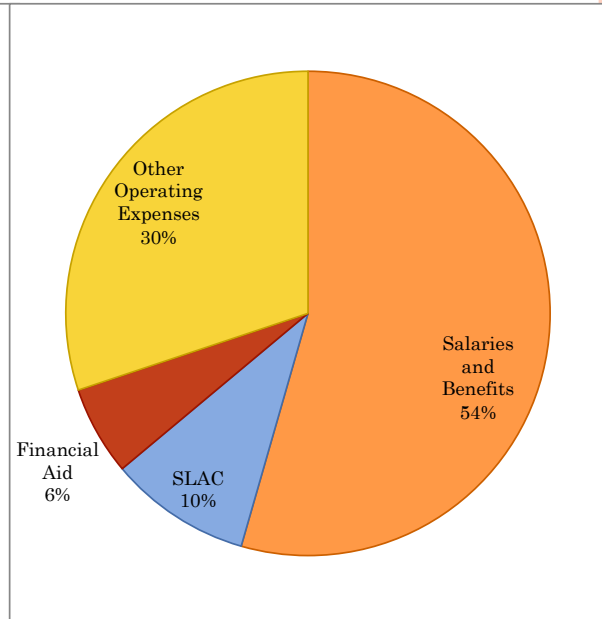


大学のバジェット配分 STANFORD (1)

Consolidated Revenues By Source
\$3,842 Million 2010

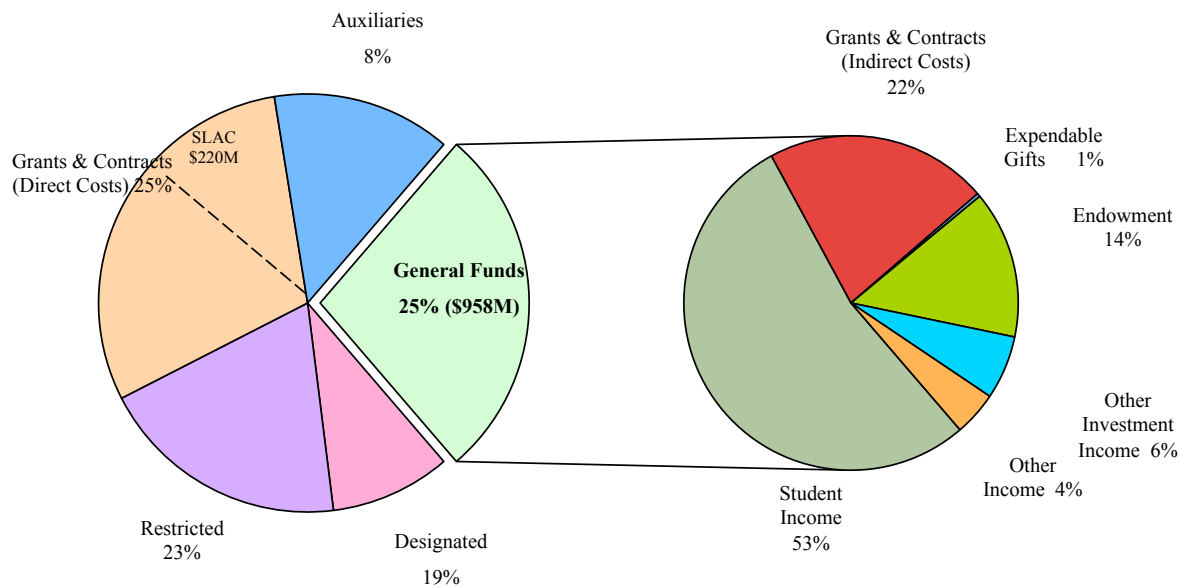


Consolidated Expenses By Activity
\$3,651 Million

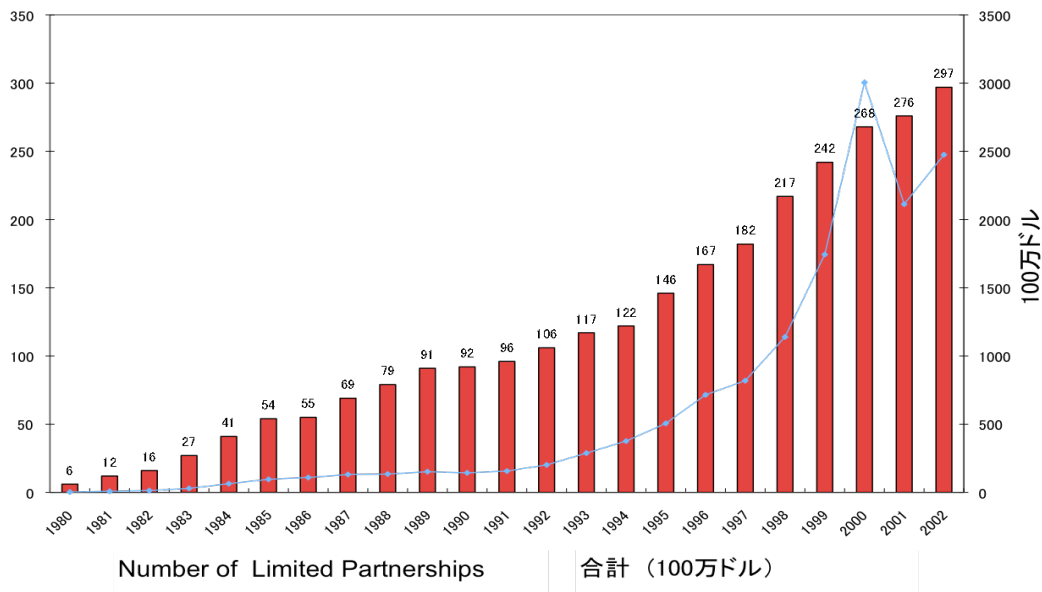


大学のバジェット配分 STANFORD (2) GENERAL FUNDS

General Fundsは大学内で自由に使える資金。学生の授業料、制約のない寄付、そしてオーバーヘッドが原資。



スタンフォード大学ベンチャーキャピタル投資



13

結語としての私的提言： 日本の研究大学は今後どうすべきか？

- Office of President の強化
 - 執行部のマネジメント能力の強化
 - 大学経営の戦略性の強化
 - 大学全体の戦略と教授会自治の緊張ある再構築
 - 大学の公共的役割を私的役割の中で再認識
- 産学連携への新しい視点
 - 市場の二面性の再認識：プラスとマイナス
 - 発見の手段としての市場
 - Money → 緊張関係のあるパトロネッジ
 - ネットワークを作る契機としての市場
- パトロネッジの多様化の必要性
 - 予算の配分の論理からの脱却
 - 大学資産の多様化→ポートフォリオ化

14